

稲作だより

第5号

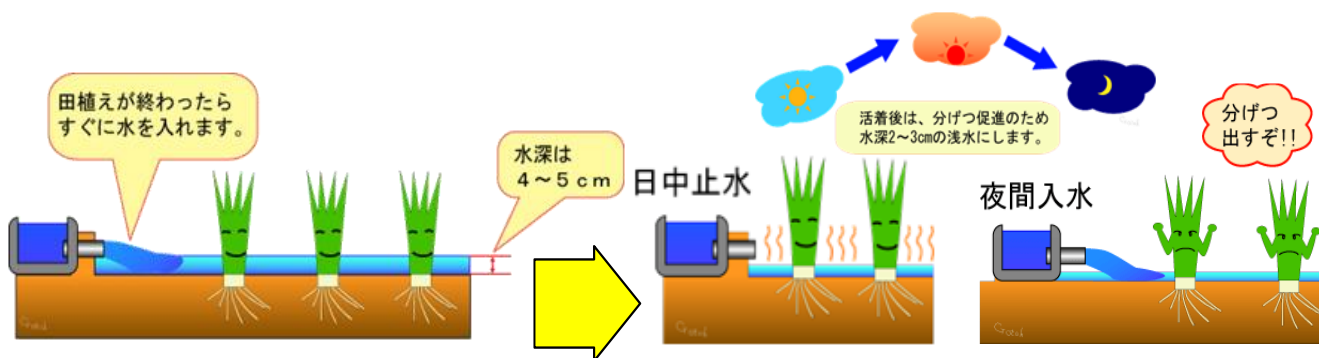
令和8年5月25日発行
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動
西村山農業技術普及課
TEL: 0237-86-8301

平年より最高気温が高く経過する見込み！(2週間天気予報、5/24発表)
ワキの発生に要注意！細やかな水管理で初期生育を確保しましょう！

本田の初期管理

1 水管理

- ・田植え後は、活着するまで**水深4～5cm程度**にして根の発生を促しましょう。
- ・活着したら、**水深2～3cmの浅水**で水温を高め、分けつ発生を促しましょう。
- ・**日中は止水**にし、できるだけ水温を高めましょう。
- ・入水は、**夜間か早朝**に行いましょう。
- ・強風や低温が続くときは、水深をやや深めにして稲体を保護しましょう。



2 除草剤の施用

- ・散布時の水深は、粒剤、フロアブル剤が**3～5cm**、ジャンボ剤、豆つぶ剤が**5～6cm**を目安としましょう。
- ・田面が露出すると、除草効果が劣るため、**散布後7日間**は止水し、田面の露出を防ぎましょう。
- ・**雑草の葉齢はイネより生育が早い**ため、散布遅れに注意しましょう。

3 藻類・表層剥離への対策

- ・藻類・表層剥離の発生が激しい場合は、イネの倒伏、生育抑制、除草剤の効果が低下するなどの影響が見られます。
- ・藻類・表層剥離の発生が激しい場合は、一発処理除草剤の散布前に数日間落水しましょう。



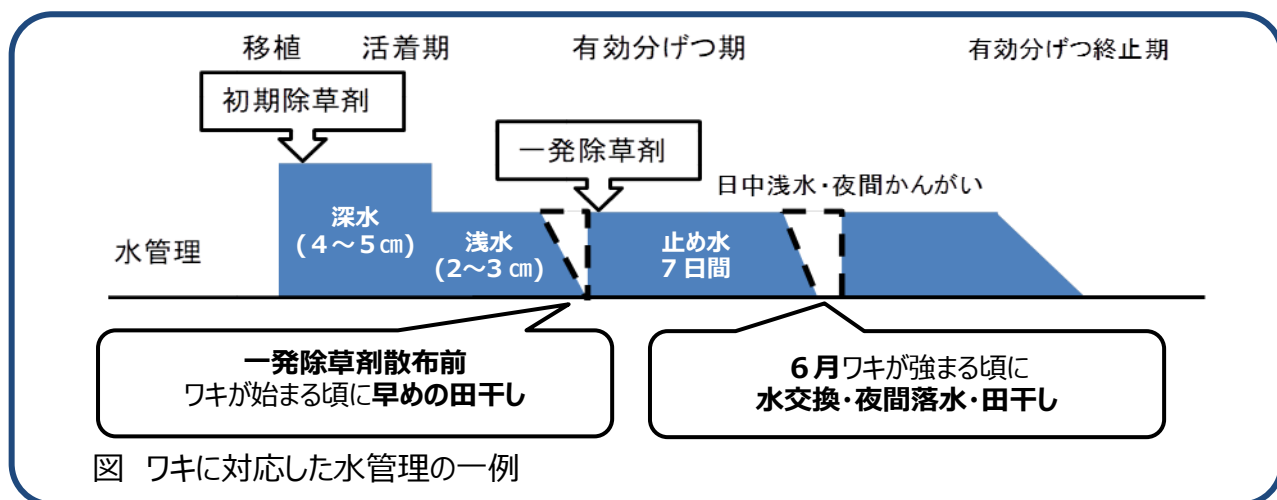
表層剥離の発生した圃場

春季農作業事故防止運動強化期間(4/1～6/10)

- ◎トラクターや田植機等による事故に十分注意しましょう！
- ◎農薬は、ラベルをよく読んで適正に使用しましょう！

4 土壌の異常還元対策

- ・高温多照が続くと、土壌の異常還元（ワキ）によって根の生育を妨げるガスが発生します。ワキが発生すると、**根の活力が低下し、葉が黄化して生育が停滞**します。
- ・**ワキの発生が見られる場合は、水管理による対策**を行きましょう。
- ・高温多照が数日続く場合は、2～3日おきに用水の入替えを行い、根に酸素を供給しましょう。
- ・毎年ワキが発生する圃場では、**一発処理除草剤の散布前に田干し(1～2日程度落水)**を行い、ワキの発生を防ぎましょう。



病害虫対策

1 いもち病対策

- ・取置き苗はいもち病の伝染源となるため、**補植後直ちに処分**しましょう。
- ・育苗箱施用薬剤を散布していない場合は、**6/20までに** 予防剤を散布しましょう。



取置き苗は直ちに処分

2 斑点米カメムシ類対策

- ・斑点米カメムシ類は、水田周辺の雑草地で増殖します。日頃から雑草管理を徹底しましょう。
- ・水田内や周辺に雑草が生い茂らないよう、水田内の除草、**畦畔の草刈り**や休耕田の耕耘等の雑草対策を徹底し、斑点米カメムシ類の発生源を減らしましょう。

「やまがた米づくりナビ」で適期作業！

適期作業カレンダー・
穂肥マップ・
刈取適期マップを
活用しましょう！



※ID、パスワードは普及課までお問合せください



稲作だよりを
LINEで発信しています